

## 英国、月間発電量で太陽光が石炭火力を上回る

英国の環境系オンラインメディアである **Carbon Brief** は6月7日、太陽光による5月の月間発電量が**1336GWh** と見積もられ、石炭火力による同月の発電量である**893GWh** を約**50%**上回ったと、発表した。

同メディアによると、太陽光発電が石炭火力の発電量を全日ベースで初めて上回ったのは**2016年4月9日**だったという。同様に、週ベースで太陽光発電が石炭火力を上回ったのは**5月3日の週**だった。

月間ベースで太陽光が石炭火力を上回る状況は、**7月**にも再現された。7月の太陽光による月間発電量は**1273GWh**、石炭火力は**778GWh** となり、太陽光が石炭火力より**64%**多かったという (図1)。



図1 ● 英国の太陽光発電と石炭火力発電の発電量の月次推移  
(出所：Carbon Brief)

太陽光が石炭火力を上回った理由として、石炭火力の出力が低下しつつあることに加え、夏季の長い日照時間の影響が大きいことを挙げている。両月における電源構成の比率では、太陽光が6%、石炭火力が4%を占める計算になる。1月は、太陽光が1%、石炭火力が17%だった（図2）。



図2 ● 英国の太陽光発電と石炭火力発電の電源構成比率の月次推移  
(出所：Carbon Brief)

同メディアは、こうした現象が全体としては「象徴的」であるとしながらも、英国の電力システムに、大きな変化が起こりつつあるとしている。